

文学大会賞

⑩ カーネーションの花束に添へし孫の文元気で居てねが心にしみる

和歌山県橋本市 相田昌子

市長賞

④⑤ 明け初める三輪の静寂に幽かなる水琴窟の音色清しも

檀原市 杉田恭子

議長賞

⑦ 野ざらしの大型機械の数多あり農止めしかと見つめる師走

宇陀市 立見千代子

教育長賞

②⑦ 春を待ち花まち九十四歳は着膨れけふも農耕に立つ

大和高田市 高松悦子

佳作賞 五首

③ 新しく迎える年の慶びも心の隅にコロナの影が

桜井市 森本和雄

⑫ 子供会の花壇にかつてのこゑは失せあの世のやうに老いらの守る

山口県宇部市 藤井重行

⑳ 親友の形見の「谷崎源氏」よりすみれの押し花はらりと落ちぬ

檀原市 高橋和代

㉓ 煙吐く工場群を描きたる絵は残れども工場の消ゆ

檀原市 松井純代

㉔ 見わたせどビルにはばまれ窓からは若草山も見えぬ病室

奈良市 豊口千代子